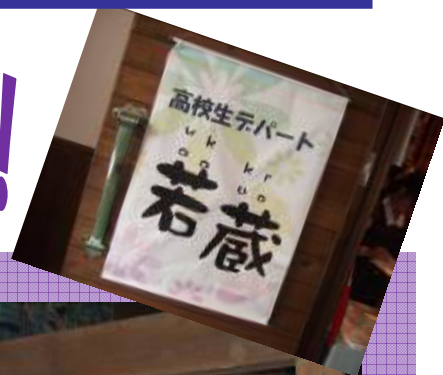


# 高瀬蔵とともに第10回「若蔵」!!



高瀬蔵のイベントに若い力にも参加、応援してもらい町の活性化につなげよう！とオープン当初より開催してきた高校生デパートが今年で10回目を数え、一段と賑やかに行われました。

新学期からの短い期間内で仕入れの交渉や商品の値札付、チラシ作りなど各校での取り組みに加え、10回目を記念して3校合同でガラポン抽選会も企画されお買い物のお客様に好評でした。

しょうぶの開花状況に比例してか、お客様の入場者数が昨年に比べ少なかったのが残念でしたが、天気にも恵まれ、高瀬蔵界隈の賑やかな一日でしょうぶまつりを締めくくることができました。みなさんおつかれさまでした!!

(商店会イベント部会)

## 会費納入のお願い

当法人運営につきましては、日頃よりご協力を賜り感謝申し上げます。平成26年会費のお支払いがお済でない方は、高瀬蔵受付にて納入頂きますようお願いいたします。(事務局)



NPO 法人 高瀬蔵

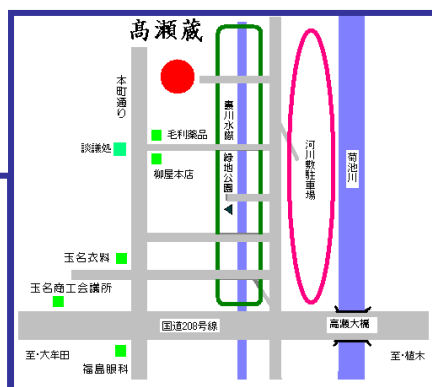
熊本県玉名市高瀬 155-1 (〒865-0025)

TEL・FAX 0968-72-2480

E-MAIL takasegura@aria.ocn.ne.jp

URL <http://www.tamana-cci.or.jp/NPO/indexf.html>

開館時間 10:00~24:00(イベント開始時間により変更あり)



◆◆ 秋・お祭り ◆◆

# 第6回【アート in 高瀬 彫刻展】

## ART IN TAKASE

10月26日(日)~11月9日(日) 観覧無料

開場 10:00~19:00まで

(最終日は15:00まで)

今年も崇城大学芸術学部の協力のもと彫刻展を開催します。

蔵の無骨な梁組と彫刻作品が織り成す迫力あるアート空間をぜひ体験ください!

主催: NPO 法人高瀬蔵 (まちづくり推進部会)  
協力: 崇城大学 芸術学部・勝野研究室

# 高瀬夜噺

本年度第2夜(6月26日)は「東南アジアの各地の米作市場」をテーマとして、元東海大学農学部教授 内堀弘治氏に、話題提供していただいた。同じアジアの中でも米づくりの方法や、食文化が日本とは違うことが、話で理解できた。

第3夜(7月24日)は「私の介護体験」をテーマとして、介護経験者である3名の方に経験談として話していただいた。超高齢化時代となった今日、介護の問題は人事として考えるのではなく、自分たちに必ず訪れる問題であることを認識してもらいたい。とのはなしであった。人間誰しも必ず老いは来る非常に考えさせられる一夜であった。

第4夜(8月28日)は「外地(中国・朝鮮・満州)の学校で迎えた8月15日」をテーマとして3名の方に話していただいた。8月15日は、終戦の日である。当時、外地の学校で終戦を迎え、子供心に、何か今までと違う(現地の友達、大人たちの態度)を感じたそうです。また、現地から日本へ帰国する際もかなり苦労したとの事。その時の場面が浮かぶように語っていただき、戦争は絶対にしてはならないとの強い思いを新たにするとともに、次の世代を担う子供たちにも語りつないでいかなければいけない重要性を参加者は感じた一夜であった。

第5夜(9月25日)は、「玉名の地名を調査して」をテーマとして熊本地名研究会会員の藤本博氏に、話題提供していただいた。玉名には面白い地名が、たくさんあり、その地名は作った地名ではなく、昔からの風土と地形、そこに暮らす人々の知恵から、名づけられた地名がほとんどとの事。また、その地域に根ざしている歴史を知りたいなら地名を勉強することもひとつの方法であるとのお話。確かに何でこんな地名なんだろうと疑問に思うことがあった参加者の方も多く、皆さん真剣に話に聞き入った。



第3夜「私の介護体」



第4夜「外地(中国・朝鮮・満州)の学校で迎えた8月15日」

(文化部会)

## 高瀬くらぶ マイスター倶楽部



9月14日(日)のお菓子づくり体験講座は、肥後のいきなりだんごの作り方を学びました。いきなりだんごは熊本の郷土菓子として県民に愛されているお菓子であります。

山寄講師のレシピによる説明と実演により、参加者の皆さんが実際にいきなりだんごを作って、吹かし、全員で試食しました。秋空が広がるひととき、蔵の中は蒸しあがるだんごの香りに包まれていました。

(文化部会)

## 今年も高瀬裏川花しょうぶまつり期間中に、さまざまなイベントが開催されました!



押し花展



にぎわう高瀬本町の通り



玉名観光物産展



玉名地域窯元展